

# 議会広報広聴委員会記録

令和6年10月28日（月）

13時30分～14時12分

第4委員会室

【出席者】 村武委員長、村木副委員長、  
肥後委員、大谷委員、三浦委員、沖田委員、川上委員、上野委員、  
西田委員、川神委員

【議長団】 笹田議長

【事務局】 下間局長、村山書記、小寺主任主事

---

## 議題

### 1 はまだ議会だよりminiについて……………資料1

(1) 第33号掲載内容及び原稿担当

(2) その他

### 2 はまだ市民一日議会の振返りについて……………資料2

(1) はまだ市民一日議会の振返り

(2) その他

### 3 その他

(1) はまだ議会だよりについて

(2) その他

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[ 13 時 30 分 開議 ]

○村木副委員長

ただいまから議会広報広聴委員会を行う。定員10名に対して本日は村武委員長より欠席届が出ており9名だが、定足数に達しているため、直ちに会議を開会する。本日の議題はタブレットにあらかじめ配信しているとおり、はまだ議会だよりmini（以下、mini）についてと、はまだ市民一日議会（以下、市民一日議会）の振り返り、その他となっている。

1 はまだ議会だよりminiについて

(1) 第33号掲載内容及び原稿担当

○村木副委員長

資料1を参照されたい。事務局から説明をお願いする。

○村山書記

( 以下、資料を基に説明 )

○村木副委員長

掲載項目は常任委員会、特別委員会それぞれあるが、今回どのような記事を掲載しようか。

○川上委員

3件か。

○村木副委員長

2件である。

○川上委員

大谷委員、今やっている分を次号でやることにして、今回は視察のことを上げようか。

○大谷委員

ということは、行ったということも。

○川上委員

行ったということで上げようか。

○大谷委員

それくらいなら。

○村木副委員長

あまり話が見えないのだが。

○川上委員

大谷委員に書いてもらうよう頼んでいた件がある。

○村木副委員長

つまり産業建設委員会の視察について大谷委員に書いてもらう話になっていると

いうことか。

○川上委員

はい。

○大谷委員

字数はどのくらいか。

○村山書記

300文字から350文字くらいになるかと思う。写真の有無にもよる。

○大谷委員

承知した。

○村木副委員長

では一つは産業建設委員会の視察で、その他はないか。

○沖田委員

総務文教委員会は10月24日に真庭市へ視察に行ったので、そのことで良ければ書こうか。西田委員よろしいか。

○西田委員

はい、結構である。

○沖田委員

では視察報告を書く。

○村木副委員長

今、総務文教委員会の視察と産業建設委員会の視察になっている。市民一日議会については良いか。

○村山書記

はい。

○村木副委員長

では二つの常任委員会に視察の記事を書いていただくということで、皆もよろしいか。

( 「はい」という声あり )

では12月1日のminiについては、総務文教委員会と産業建設委員会に書いてもらう。

議員のつぶやきはどなたかいらっしゃるか。西田委員につぶやきをお願いできるだろうか。

○西田委員

はい。

○村木副委員長

では西田委員につぶやきをお願いする。

(2) その他

○村木副委員長

miniについては以上でよろしいか。

( 「はい」という声あり )

原稿締切りが11月15日となっているので、それぞれよろしく願います。

## 2 はまだ市民一日議会の振返りについて

### (1) はまだ市民一日議会の振返り

#### ○村木副委員長

結構資料がある。資料2がアンケート集計結果である。これについては発言者と傍聴者の気付きや発見、意見、感想をそれぞれ書いてもらっている。さらにそれ以降についてはアンケート集計ということで、資料解釈していただき、事務局としての総括を3ページに掲載している。今後の内容についても上がっている。

速報ということで、発言内容に対する全議員からの報告事項ということで、午前中までに受け付けたものに関しては手元に配信されている。各議員の感想、改善点、さらに各項目の議会としての対応案について上がっている。これは参考ということで見てもらいたい。将来的にはこれが全員協議会資料になるかと思う。

資料の中でまず振り返りである。委員として市民一日議会を振り返ってみて、意見や感想があれば。資料に書いてもらってはいるが、委員会記録としても残しておきたい点があれば願います。

#### ○川上委員

もう少し意見を聞く時間があっても良い。短くて聞きたいことが聞けなかった。

#### ○村木副委員長

これは今日結論を出すのではなく、とりあえず聞くということでよろしいか。

#### ○村山書記

はい。

#### ○村木副委員長

ほかにあるか。

#### ○川神委員

時間配分のバランスについてが課題かと。発言者も十分発言できて、聞くほうもしっかり聞ける。時間が長ければ良いわけではないが、少しタイトに感じた。例えば質問時間を使い過ぎて向こうが十分な返答ができなかったり、思いを伝えられなかったりしたケースがあったように一部感じられた。ルールを設けるのが良いように思う。様々な理由があってやってきて、十分に納得感のある時間を過ごしてもらいたい。

#### ○西田委員

この質問にはこの議員が質問するのが良いという場面の中にはある。事前に内容が出るので、最初の質問はこの議員に1回は任せようといったものがあったとしても良いと思う。

#### ○村木副委員長

質問の専門性というか、一人は決めておく。

○西田委員

絶対に決めなければいけないわけではないが、この内容についてはこの議員に先に聞いてもらったほうが良いのではないかと、というものがあれば事前に決めておいたほうが良い気がした。

○上野委員

最初は知らないことをいろいろ聞けて、すごく参考になった。ぜひ検討して生かしていきたい。

○三浦委員

今回もたくさんの応募があつてとても良かった。進行等はおおむねスムーズなのだと思うが、やはり限られた時間で原稿を作成される発言者の方々も5分なら5分で用意されてきている中、時間のバッファが多少あると、自分はしっかり5分に収まるようにやってきたけど、もう少ししゃべれるならしゃべりたいという気持ちはどうしても出てくるのかと思う。ルールを厳格にするというよりは、発言される方に時間を一律に守ってもらうよう伝えることをもう少しやるなど、対応は必要かと思う。質問したいが順番が回ってこないとできないということもある。その場でなくても、関係性が終わるわけではないので発言された方に議員からの質問や感想をしっかりお戻しするような形で、あそこでしゃべって終わりではないということでも何か対応を考えても良いかと思った。

ルールの話でいくと、私は委員会をお休みしてしまったので今回の判断については何も言わないが、10人という参加人数上限がある中で、今まで過去3回においても上限に対してどうするかは都度議論してきて、断った回もあった。募集後にスタンスが変わるのはちょっと。せっかく応募してもらったのだからしゃべっていただきたい気持ちはもちろんありつつ、これまでも対応してきた。柔軟に対応しようというなら、柔軟に対応できるような募集方法を考えたほうが良いのではないかと。応募ルールをしっかりと決めようとか、発言時間をどうしようかという話が今出ているので、それも併せて、議員の間で見解はきちんと持って事業に臨んだほうが、途中で見解の不一致によって再度議論をするようなことは避けられるのではないかと思う。

○沖田委員

常に言っているが、質問時間が短いのではないかと。というのが、結局質疑応答合わせて5分なので、発言者の時間を確保しておくべきだろうと一貫して言っている。5分なら5分でも良いので、5分を発言者の持ち時間にしてあげないと、今は議員が一方的にしゃべってしまうと発言者の発言がなくなってしまう形になっている。

○村木副委員長

発言者の答弁の時間か。意見の時間はキープしている。

○沖田委員

答弁の時間である。もちろん意見の時間5分はキープしているが、質疑応答で例えばこちらが一方的に自分の見解を述べたら、その分どんどん時間が削られている。

○大谷委員

三浦委員も言われたように、当初決めたことについてはそのとおりにやるのが合理的だと思う。

もう1点、県立大学の入試と日程が重なっていたので、そのために入試に関わりそうな子が応募できなかった。そうした日程的などころを考慮しながら、発言したい者が発言できるような日程にしたほうが良い。

もう1点は、終わった後に高めるような時間が発言者と議員とにあれば。すでにされている方はいるが、時間枠としても用意しておけば、発言者も我々も対応しやすいと感じた。

#### ○村木副委員長

確かに日程を再度確認して、申送りしておきたい。

#### ○肥後委員

ほかの委員が言われたように5分間の発言時間、これは中身にもよるが、全体的に少し足りないと思った。質問と答弁の時間が圧倒的に足りないと感じた。逆に10分確保できれば、もっといろいろな議員が手を挙げたのでは。自分も個人的にもっと聞きたかったし、ほかの議員からもそのような空気を感じた。もう少し時間を確保できないか。

#### ○村木副委員長

委員からいろいろと申し送りや感想・意見をいただいたので、これについてはまたまとめておきたい。事務局から何かあるか。

#### ○村山書記

時間について意見が多く出てきており、傍聴者からのアンケートでも、5分終わってもまだ終わらない人もいれば早く終わっている人もいるといった指摘があったので、時間については次回開催までに考える必要性を感じた。

#### ○下間局長

先ほども、質問と答弁というような言い方をされた委員がおられたが、発言者が要望することに対して議員が答弁をするのか。議会としての考えは今後検討していくわけで、あの中で答弁しようとする議員もおられたように思う。質問を確認する場だと事務局は思っているのだが、その認識が議員によって違っているのだろうか。発言者に向けて議員個人の考えを言う場なのか、回答する場なのか。そうではなく、こういう意図なのか、この点はどう考えているのかなどと議員が逆に聞く場かと私は思っていた。その整理をもう少ししておいたほうが良いかと思う。そうするともっといろいろな議員が確認はできるかと思う。

今回いろいろと建設的な意見をいただき、私が見た中では、終わった後に発表者同士が名刺交換をしたり連絡を取り合おうとされているのを見て、それがすごく良いことだと思った。議員と発言者だけの関係ではなく、発言者同士のネットワークづくりの場にもなり得るのだと。高校生と社会人が休み時間にもアイデア交換されていて、すごく良かった。

## ○議長

あくまでも発言者に対して確認したいこと、質問したいことを聞いたのだが、やはり自分の意見を述べて時間が長引いたと感じた。5分を超えたケースもあった。私としては雰囲気良くやりたかったので、今後は発言者に注意していただきながらやってもらわないといけないかと思った。5分になったのでやめてくれというわけにもいかないなので、その辺は気持ち良く発言させてあげることも必要かと思う。

発言者同士が交流しているのは良いと思った。これは難しい話かもしれないが、ほかの発言者からも何か質疑があっても面白いかと思いながら聞いていた。今回は関連することが多かったので、終わった後で勧誘などもできたのではと思う。

## ○村木副委員長

第4回市民一日議会について皆からいろいろ意見をいただいた。今日欠席された委員長とまた情報共有したい。今後の方針については、全員協議会にて議論する。

この件に関しては以上でよろしいか。

( 「はい」という声あり )

## 3 その他

### (1) はまだ議会だよりについて

## ○村木副委員長

この議題については委員長の思いがあったようなのだが、その委員長が今日は不在のため内容を変えていきたい。事務局から説明をお願いします。

## ○村山書記

( 以下、資料を基に説明 )

## ○村木副委員長

今度の2月1日発行についてはまた改めて役割を決めるが、お手元の資料のとおり年末年始もあってかなりタイトな日程となっている。今日は市民対談のみ、テーマと担当を決めていただき、事前に着手できればと思っているがよろしいか。

## ○大谷委員

そもそもの話として年内に終えなければいけないのか。

## ○村山書記

2月に発行するためには、1月18日には納品が必要で、事業者が1月頭は冬休みで営業されてないので、そうすると12月時点で校了までいかないと、その後の印刷作業等が間に合わない。

## ○村木副委員長

はまだ議会だより（以下、議会だより）の2月1日号の項目を1点決めたい。テーマはどのようにしようか。暫時休憩する。

[ 13 時 58 分 休憩 ]

[ 14 時 3 分 再開 ]

○村木副委員長

休憩前に引き続き委員会を再開する。

改めて議題として2月1日号の市民対談のテーマについて伺う。

○川神委員

先般も和紙の記念式典があった。浜田市にとって和紙は地場産業としてとても大事であるが、現場の人間をインタビューしたことは多分なかったと思う。材料確保など一連の流れに関わる方々の話を聞きたい。石州和紙完成までに係る方の話をしっかり聞いて地場産業を盛り上げたらどうかと思った。

○川上委員

非常に良い。ぜひともやってもらいたい。

○村木副委員長

そうすると2月1日号の市民対談は、和紙に関するテーマでやりたい。取材及び執筆はいかがでしょうか。

○川神委員

言い出しっぺなので責任を持って取材に行く。できれば三隅の方、地元の方と一緒に行っていただければ非常に引き出しができる。副委員長は忙しいだろうから西田委員を連れて一緒にインタビューに行ければ良いのだが、いかがだろうか。

○村木副委員長

サポートに西田委員の指名があったが、西田委員よろしいか。

○西田委員

はい。

○上野委員

和紙の原料、旭の促進センターで受刑者の方がかなり幅広くやっておられる。そういうこともできれば一言でも載せてもらいたい。

○川神委員

先ほど言ったのは、和紙会館ができてインバウンドや子どもが紙すき体験をして石州半紙ができ上がるころまでやるが、楮を確保したりそれを流したり、すごく作業があって、それができてやっと次の行程に移るのを見ている。地元の方がそれを確保する。促進センターが関わっているならその話題を少し入れて、それを再度こちらへ持ってきて最後に石州半紙として完成するプロセス。どの程度話を聞いて情報が入るかは別だが、流れの中には入れていけば良い。ここも少し話を聞いても良い。

○三浦委員

地域の連携や地場産業の振興という視点を持って取材をするということか。

○川神委員

はい。

○三浦委員

議会だよりの市民対談は、議会の視点をどこに置いてやるか、こういうところに着目して今回こちらに取材に行くということをリード文に書いたほうが、なぜ今回こ

れを取り上げたのかが読者に分かりやすいと思う。そこに議会視点が入っていくことが議会だよりの大事なところだと思う。

**○川神委員**

僕がいつも思うのは、この議会だよりにしても、議会から何のメッセージを市民へ届けるために出しているのか、議会のメッセージはすごく大事だと思っている。三浦委員がまさしく言われたように、なぜそこへ取材へ行くのか、議会として議員としてどのような視点で行くのか。今、地方創生ということを厳しい状況で石破総理も頑張っているが、その地域にしかないもの、地域特性、そこでの生業などで頑張っているもの、地場産業、地元の取組などで頑張っている方を、議会としては縁の下の力持ちとして応援する必要もあるだろう。生き様を議会としても紹介してコメントできれば良いと思っている。

**○村木副委員長**

テーマや議会からのメッセージを確認した。では取材と執筆は川神委員と西田委員にお願いしたい。すでに着手して良い。ページは2ページ分をお願いします。

**○三浦委員**

写真は撮りに行く。

**○村木副委員長**

お願いします。

**(2) その他**

**○村木副委員長**

皆から本日の協議事項から何かあればお願いします。

( 「なし」という声あり )

そうすると、事務局から次回開催日程の確認をお願いします。

**○村山書記**

次回、11月25日月曜日13時半から。内容としては次号miniと次号議会だよりのレイアウトと原稿担当者の決定について協議できればと思っている。また、11月15日までにぎかいポストの回収をお願いできればと思うので、よろしくをお願いします。

**○村木副委員長**

11月15日までに各まちづくりセンターのポスト回収について、再度案内があると思うがよろしくをお願いします。以上でよろしいか。

( 「はい」という声あり )

では、以上で議会広報広聴委員会を終了する。

[ 14 時 12 分 閉議 ]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 村武 まゆみ